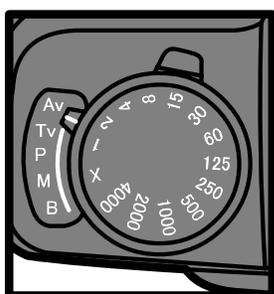
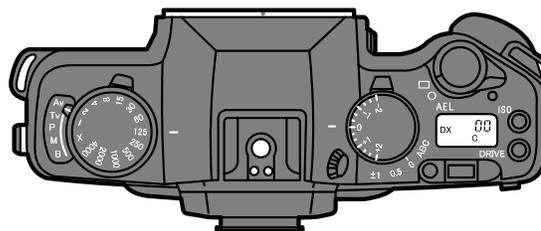
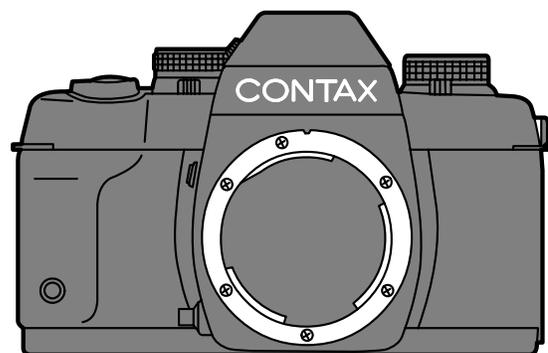


CONTAX ST

スペック	
シャッター	1/4000~1秒・B (電子シャッター)
X接点	1/200秒
測光方式	スポット測光 / 中央部重点測光
撮影モード	絞り優先 / シャッタースピード優先 / プログラム / マニュアル
サイズ	151.5 × 97.5 × 55.0mm
重量	800g
発売年	1992年
新品価格	200,000
中古相場	65,000 ~ 85,000前後
備考	AE撮影時は、16秒まで露光可能。 ファインダー視野率95% ファインダー倍率0.8倍



まず最初に、コイツの気に入らない点を述べる。
小さなことかも知れないが、ストラップを取り付けるための金具が気に入らない。普通、MF機ならば、三角形の金具にストラップを通す。こちらのほうが、ストラップのとりまわしがスムーズだ。しかしコイツにはAF機によくあるような細長い穴の開いた金具しかない。
我輩はいつも思うのだが、なぜこのような不便なものがAFの象徴となるのであろうか。ましてやMF機であるコイツが、意味も無くAFのマネごとをやっている。

悪口はこれくらいにして、今度は良い部分を述べることにする。
最近のコンタックスは、ダイヤルが大型で操作しやすい。しかもコイツのダイヤルにはダイヤル・イルミネーション機能という照明装置が付いており、ファインダー接眼部横のボタンを押すと、ダイヤルの文字が下から照らし出されるのだ。実際にはそんなに薄暗い場所で写真など撮ることは少ないと思うが、こういった仕組みというのは楽しいものだ。それだけで写真が撮りたくなるのであれば、それは大きな効果だ。
また、金属ボディーも存在感を主張するのに役立っている。

ちなみに我輩は、コンタックスのメインスイッチが特に気に入っている。無理なく操作できるところが気分がいい。